

❁ いわくに市議会だより

シー  
See 議会

No. 65

令和5年2月発行



紙面のQRコードをスマートフォンなどで読み込んでいただくと、より詳細な内容を御覧いただけます。

目次(主な内容)

12月定例会の報告	2
一般質問	3~6
議案の賛否	7
委員会審査報告	8~9

議員提出議案	10~11
3月定例会の予定	12
編集後記	12



## 12月定例会の報告

12月定例会は、11月28日から12月23日までの日程で開催されました。

初日には、例月出納検査の結果に関する報告についての監査報告が3件、議案第123号「令和4年度岩国市一般会計補正予算（第6号）」などの議案が29件提出され、議案はそれぞれ、総務常任委員会、教育民生常任委員会、経済常任委員会、建設常任委員会に付託しました。

一般質問は12月7日・8日・9日・12日・13日の5日間の日程で24人の議員が登壇し、第3次岩国市総合計画基本構想、子育て支援、農産物の安定確保、有事につよまちづくり等様々な課題について、

活発な議論が交わされました。

12月13日には、妊娠期から出産・子育てまでの伴走型相談業務と経済的支援を一体的に行うための経費などを追加計上する議案第152号「令和4年度岩国市一般会計補正予算（第7号）」など、2つの議案が上程・委員会付託しました。また、議員提出議案第6号「議会広報特別委員会の設置について」が上程され、全会一致で可決されました。

休会中の12月14日・15日・16日・19日の4日間において、経済、教育民生、建設、総務常任委員会が開催され、付託された議案について慎重な審査が行われました。

最終日には、各常任委員会の委

員長から、委員会に付託された議案の審査経過と結果について報告があり、議案31件のうち、26議案は原案のとおり全会一致で可決されました。反対討論がなされた5議案は、原案のとおり、賛成多数で可決されました。

ここで、議案第136号「岩国市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例」が可決されたことに伴い、この条例の一部改正を含む議員提出議案第7号「岩国市議会の個人情報保護に関する条例」が上程され、原案のとおり、賛成多数で可決されました。

最後に、各常任委員会から閉会中に審査するための特定事件について申出があり、議決され、閉会となりました。

岩国市議会議長 桑原 敏幸

# 一般質問 市政を聞く

12月定例会では、24人の議員により、市政全般にわたる幅広い質問が行われました。

※紙面の都合上、質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

スマートフォンなどでQRコードを読み込んでいただくと、より詳細な内容が御覧いただけます。



## 会派代表質問



片岡 勝 則  
(憲政会)

**問** 第3次岩国市総合計画における「基地との共存」について

**答** 第3次計画においても、引き続き継続して取り組んでいく

「基地との共存」については、基地が所在することで市民の皆様が様々な負担があることは確かだが、基地を否定的に捉えるのではなく、基地があることを前提に共存を図り、市の発展のために生かしていくという、現実的かつ前向きな視点で取り組んでいく。また、岩国市は基地と共に歩んできた歴史があり、多くの市民が、基地の存在そのものについて、これを認め、日米同盟を基軸とした国の安全保障政策を尊重し、基地の安定的な運用に協力してきたと考える。今後とも市民の平穏な生活の確保に努め、基地を有効な資源として活用するアイデアと発想をもって住民福祉向上につなげる。

## 会派代表質問



矢野 匡 亮  
(志政いわくに)

**問** 第3次岩国市総合計画基本構想について

人口減少の抑制のみならず、人口増加につながる、地域交通や市民の足を確保・維持していく対策について問う。

**答** 誰もが安心して快適に公共交通機関を利用できる環境の整備を進めるとともに、利用促進に努めていく。

乗合タクシーについては、運行する車両が一定数必要となり、地域によつては、交通事業者が保有する車両が少なく、運行することが難しい状況も考えられる。今後は、複数の新たな移動手段についての調査・研究に努めるとともに、どのような運行が効率的で持続可能であるかを、地域の実情を踏まえて検討していく。

**その他の質問事項**

- ・ 地域間や他都市との交流、連携について
- ・ JR新岩国駅、山陽本線、岩徳線各駅を中心とした地域振興策について

## 会派代表質問



中村 豊  
(公明党議員団)

**問** 元町第一街区公園の蒸気機関車の整備・維持について

元町第一街区公園のシンボルとなっている蒸気機関車は、製造から84年がたっていて、さびだらけで朽ちている部分もある。今後の整備・維持について問う。

**答** 早期の塗り替えなどの適切な対策を考えている

これまで5回の塗り替えを行ったが、最後の塗り替えから20年近く経過しており、塗装面やさびによる車両の傷みが見受けられる状況となっている。対策に向け、専門業者など詳しい方に施工方法を相談している。今後、見積りの徴取などを行い、できるだけ早くの塗り替えや補修を実施し、現在のような露天での展示においても、適切な維持管理と必要な修繕により、できるだけ良好な状態を維持していく方針でいる。

(都市開発部)

会派代表質問



小川 安士  
(日本共産党市議員)

**問** JR岩徳線の10時台の列車の増便、復活について

10時台の列車増便を、市からJR西日本に働きかけるよう求める要望書と署名が提出されたが、どのような経過にあるのか。また、使わないから便数が減るのは当然という考え方は、公共交通としての責任放棄であり、結局ローカル線はなくなる。分割民営化のとき「全国一律からローカル線優遇のサービスに徹します」と宣伝されたが、今は運行速度が遅い。経営努力を求めべきだ。

**答** 県を通じて正式に要望する

JR西日本には要望の趣旨を伝えた。JR西日本では輸送量により便数調整しており増便は難しいと思うが、県を通じて正式に要望する。JR岩徳線利用促進委員会の取組で利用を促進させ、増便を目指したい。

会派代表質問



細見 正行  
(市政改革クラブ)

**問** 有事に「よいこいこ」まちづくりについて

国は武力攻撃事態等を想定した国民保護法を制定し、その第16条では市民村の実施する国民の保護のための措置が示され、市町村が避難に関する措置を実施しなければならぬと明記している。いくら法律を制定しても、現実に有事によいまちづくりをしない住民の安全は守れない。道路網の整備やシェルターの設置について問う。

**答** 岩国市地域防災計画に位置づけ

岩国市国民保護計画では武力攻撃を想定した道路網の整備計画に計画はないが地域防災計画で、防災拠点となる行政機関、医療機関等を結ぶ道路を緊急輸送道路として位置づけ。その他の質問事項  
・基地内の生鮮食品や生活用品を地域から調達することについて  
・基礎研究機関や安全保障産業の育成  
・企業誘致について



山本 辰哉  
(同志会)

**問** スケートボード場の新設について今後の取組を伺う。

**答** 今後、スケートパークの安心・安全な場所への移転を視野に入れた、候補地選定に係る基礎調査の実施を検討していく。また、利用者の意見をしっかりと伺っていく中で、スケートボードを含めたアーバンスポーツという概念でもいろいろと考えてまいりたい。



野本 真由美  
(公明党議員団)

**問** 令和5年4月1日からの子宮頸がん予防のHPV9価ワクチンの定期接種に伴う本市の対応について問う。

**答** 9価ワクチンは2価・4価より多くの遺伝子型を標的としており、子宮頸がんの罹患率及び死亡率の減少が期待される。本市においても国の動向を注視し、遅滞なく対象者の方への個別通知等、適切な情報提供を行う。



石原 真  
(同志会)

**問** 旧郡部は人口減少・過疎化が著しく課題が山積している。課題解決のためには、その地域に密着した総合支所が地域に合った施策を展開していくことが重要。総合支所の政策形成力を強化すべきではないか。

**答** 総合支所で勤務する職員を含め、全ての職員に地域の特性を生かした政策を形成する能力が必要。柔軟かつ迅速に対応できる人材育成に取り組んでまいりたい。



奥江 徳成  
(公明党議員団)

**問** 流域治水プロジェクトが本年2月に策定されたが、支流・本流の合流地点の特別な記載はなく、今後災害が懸念される。県・市一体で対応しなければならぬと考えるが市の対応を伺う。

**答** 今後においても流域全体の関係者と協力し、策定済みのプロジェクトについて、進捗状況を把握するなどフォローアップを実施する。



姫野 敦子  
(リベラル岩国)

**問** コロナやウクライナ侵攻など世界的な物価高。一方、年金など収入は減るばかりで厳しい状況が続く。子供から高齢者まで誰もが集える食事支援や対応は。

**答** 食事支援活動は人と人とが触れ合い、地域のつながりの場が生まれ、日々の困り事に対する支援の手も届きやすくなる。食事支援活動の取組が促進されるよう努める。



広中 英明  
(市民クラブ・草の根)

**問** 玖北地域の主要産業の林業に對して、本市が行っている取組を伺う。

**答** 令和3年度に「岩国産木材搬出流通促進事業費補助金」を創設した。当事業は、市内で間伐された杉、ヒノキの原木を、山口県森林組合連合会の岩国木材センターに搬入した方に対して1立方メートル当たり2千円を交付する。また今年度は「林業担い手育成支援事業費補助金」も創設している。



長岡 辰久  
(日本共産党市議団)

**問** 高校生医療費無償化について。全国、山口県でも3割の自治体が高校まで医療費を無償化しており、市にも求めた。

**答** こども支援施策は、子供を取り合うこととなるため慎重に判断する。

**問** 高齢者活き行きサポート事業について。タクシー券を2倍にするよう求めた。

**答** 交付したタクシー券の7割しか使われていないので現状は考えていない。



藤重 建治  
(志政いわくに)

**問** 県立高校将来構想で、県立中学校の開設及び高森みどり中学校の募集停止が示されたが、事前に市教委及びPTA等関係団体との協議がされていない。県教育基本計画の推進には市町教委、関係機関・団体と連携するとあるため、県教委に協議の場を設けるよう強く求めるべきと考えるがいかがか。

**答** 県教委に対し、素案についての説明及び協議の場を設けるよう要望する。



川口 隆之  
(志政いわくに)

**問** 本市における就職氷河期世代に対する職員採用の取組と就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業を行っているか伺う。

**答** 本市ではこの世代のみを対象とした試験はしていないが、民間企業等職務経験者を対象とした試験を行っている。職務経験にアルバイト等の非正規雇用は含まない。また、この世代を支援する取組を実施している。



松田 一志  
(日本共産党市議団)

**問** 米軍岩国基地問題について  
①燃料施設の5倍化計画について  
②昭和町藤生線の基地内用地の返還について

**問** 国民健康保険について  
①18歳までの均等割を廃止することについて

**問** 黒い雨被爆者健康手帳について  
①申請者への支援について



貴船 斉  
(憲政会)

**問** 麻里布小・中学校の通学路の危険箇所解消について問う。

**答** 岩国市通学路学校安全対策協議会で対策を講じている。最も効果的な方法は新たな歩道の整備で、用地買収の協力等の要件が整えば実施したい。また、通学路の変更について学校側からその旨の相談があれば、学校を含め関係機関と協議を行い、安全性を確認した上で変更することは可能と考える。



桑田 勝弘  
(公明党議員団)

**問** 地域猫活動ではない「岩国市飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金制度」の目的が誤解されている。地域猫活動に取り組むことを期待するが見解を問う。

**答** 地域猫活動が飼い主のいない猫を保護しつつ衛生等の問題の解決のためには有力な取組の一つであることから、山口県と連携しながら、地域猫活動を推進していく。



丸茂 郁生  
(志政いわくに)

**問** 東光寺や桜地蔵、明生台などの高台団地は道路の幅員も狭く、袋小路が非常に多い。道路整備のための私道の市道編入を進めるべきだが、難しい場合は整備のための支援制度の拡充について伺う。

**答** 高齢化が進み、生活道路の維持管理が難しくなっていると、声が上がるため、支援制度について、通り抜け道路などのメイン道路の対応を、他市の状況を参考に調査研究していく。



瀬村 尚央  
(市政改革クラブ)

**問** 第3次岩国市総合計画策定に当たり、第2次岩国市総合計画において人口減少抑制、市民満足度向上が芳しくないがどう振り返るか。

**答** コロナ禍の影響もあるが、各分野で分析し第3次計画に反映させる。

**問** 装港小学校の今後について伺う。

**答** 今後も住み続けられる地域の人の理解も大切なため、地域の人を対象とした住民説明会を引き続き実施していく。



中村 恒友  
(市民の声をきく会)

**問** 食品添加物、化学物質やストレスなど現代社会が抱える多くの要因で血液が汚れ、血流が悪化し疾病が発症する。血流悪化の原因を究明し、生活習慣改善で免疫力を高め、健康管理に努めることが求められる。情報を共有し、健康寿命日本一を目指すための所見を伺う。

**問** 地域住民が避難場所としてふさわしいと判断する避難場所である必要があり、合理的な運営と管理を強く求める。



武田 伊佐雄  
(憲政会)

**問** 県立高校の再編整備計画について、玖西地域では十分な説明がなされていないとの声を聞く。市教育委員会として、改めて地元説明会の要望を行うべきではないか。

**答** 地域の声を大切にするという観点から県教育委員会に伝えるとともに、生徒・保護者・地域の方々が必要である納得できる話合いの場が必要であることを市教委として要望する。



重岡 邦昭  
(市民クラブ・草の根)

**問** 岩国錦帯橋空港国際線就航について、今後10年間に及ぶ岩国市のまちづくりとなる第3次総合計画が示された。岩国錦帯橋空港の役割は言うまでもなくビジネス及び観光利用客の拡大、さらには企業誘致など地域振興に期待するものであるが十分に活用できていない。ぜひとも岩国錦帯橋空港国際線就航を求めるが所見を聞く。

**答** まずは現在の路線を有効に活用していく。



石本 崇  
(志政いわくに)

**問** 美和町の上海電力岩国メガソーラーに設置される太陽光パネルは全て中国製で、米国ではウイグル強制労働防止法で輸入差止めと聞く。また岩国市議会もウイグル人の強制労働に反対する意見書を全会一致で可決している。ウイグル人の血と涙と怨念の染みついた電気を使用する気には誰もなれない。岩国市の見解を問う。

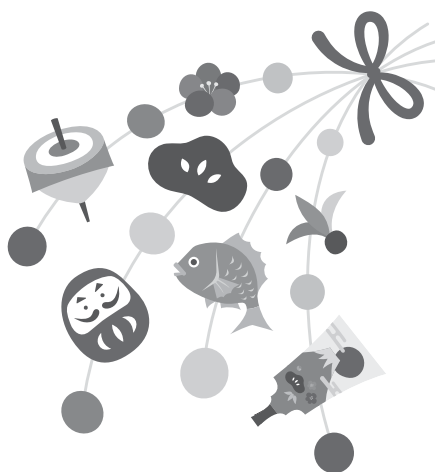
**答** 引き続き情報収集に努める。



広中 信夫  
(市政改革クラブ)

**問** 今回の台風14号の甚大な被害を受けた錦川流域ではダム群の事前放流の不手際が要因との様々な憶測が飛び交い行政不信が広がっている。正確な情報を市民に伝える住民説明が必要と思うが市の考えを問う。

**答** 県河川課から、①事前放流②平瀬ダムと菅野ダムの一元管理・洪水調節③錦川沿いの浸水の考察など、関係者へ説明を行う予定で、できるだけ早い時期に日程調整をしていく。



# 12月定例会の議案等に対する各議員の賛否を掲載しています

## 【全会一致で可決された議案等】

### 【議案】

- ・ 令和4年度岩国市一般会計補正予算（第6号）
- ・ 令和4年度岩国市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ・ 令和4年度岩国市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ・ 令和4年度岩国市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- ・ 令和4年度岩国市周東食肉センター事業特別会計補正予算（第1号）
- ・ 令和4年度岩国市市場事業特別会計補正予算（第2号）
- ・ 令和4年度岩国市水道事業会計補正予算（第1号）
- ・ 令和4年度岩国市工業用水道事業会計補正予算（第1号）
- ・ 令和4年度岩国市下水道事業会計補正予算（第1号）
- ・ 岩国市職員の高齢者部分休業に関する条例
- ・ 岩国市行政組織条例
- ・ 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- ・ 岩国市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 岩国市一般職の職員の給与に関する条例及び岩国市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

- ・ 岩国市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 岩国市運動施設条例の一部を改正する条例
- ・ 岩国市生活支援ハウス条例の一部を改正する条例
- ・ 岩国市教育委員会の職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 岩国市錦高齢者の家条例を廃止する条例
- ・ 南岩国駅前広場等整備工事請負契約の締結について
- ・ 指定管理者の指定について【岩国運動公園ほか5施設】
- ・ 指定管理者の指定について【市営住宅ほか】
- ・ 指定管理者の指定について【周東文化会館ほか3施設】
- ・ 指定管理者の指定の変更について【美和生活支援ハウスやすらぎ】
- ・ 令和4年度岩国市一般会計補正予算（第7号）
- ・ 岩国市中央公民館解体工事請負契約の締結について

### 【議員提出議案】

- ・ 議会広報特別委員会の設置について

## 【本会議で賛否が分かれた議案】

(○=賛成、×=反対)

件名	議決結果	憲政会				志政いわくに				公明党議員団			共産党		市政改革		同志会		市民		声		リベ					
		植野正則	片岡勝則	貴船 齊	桑原敏幸	武田伊佐雄	松川卓司	石本 崇	川口隆之	藤重建治	藤本泰也	丸茂郁生	矢野匡亮	奥江徳成	桑田勝弘	中村 豊	野本真由美	小川安士	長岡辰久	松田一志	瀬村尚央	広中信夫		細見正行	石原 真	山本辰哉	重岡那昭	広中英明
岩国市水道条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩国市個人情報の保護に関する法律施行条例	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩国市情報公開条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩国市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩国市総合計画基本構想の策定について	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩国市議会の個人情報の保護に関する条例	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長（桑原敏幸）は採決に加わりません。  
 ※会派名の省略は次のとおり 共産党=日本共産党市議団、市政改革=市政改革クラブ、市民=市民クラブ・草の根、  
 声=市民の声をきく会、リベ=リベラル岩国

# 委員会審査報告

## 経済

委員長 丸茂 郁生  
副委員長 小川 安士  
委員 石原 真・片岡 勝則  
重岡 邦昭・瀬村 尚央  
中村 豊



議案第123号 令和4年度  
岩国市一般会計補正予算（第  
6号）について

**問** 中山間地域等直接支払事業  
に関して、集落協定を結んで生  
産活動を行う場合への交付金で  
あることから、農家単独の支援  
より効果的な支援が期待できる  
が、どのように活用されている  
のか。

**答** 集落協定を結んでいる各地  
域では、機械の共同購入、あぜ  
及び水路の復旧作業などに活用  
されており、今は集落外で生活  
している後継者もメンバーとし  
て参加できるので、将来に向け  
ての目指すべき姿にもつながっ  
ているものと考えている。

**問** 開催を中止した周東食肉  
フェアとサンチャロウまつり  
は、地域振興にとって大変重要  
な行事と考えている。岩国祭や  
市場まつりは開催されており、  
市としても新型コロナウイルス  
感染症に係る岩国市主催イベン

ト等ガイドラインを活用し、開  
催方法及び感染対策を説明し  
て、主催者側が安心感を持って  
開催できる環境をつくっていた  
きたい。

**答** 地域の方々の意向や地域の  
事情を尊重しながら、必要な情  
報を提供し、できるだけ開催し  
ていただけるように、地域と話  
し合いながら、支援していきた  
い。

議案第152号 令和4年度  
岩国市一般会計補正予算（第  
7号）について

**問** 農業経営継続緊急支援補助  
金に関して、あらゆる農家が活  
用できるように、補助内容や申請  
期間について、分かりやすく丁寧な周知を求める。

**答** 市報やホームページ等で周  
知を行い、県に申込みをされた  
方に対しては通知をすることを  
検討している。今後多くの農  
家が制度を活用できるように、支  
援に努めていきたい。

## 教育民生

委員長 矢野 匡亮  
副委員長 長岡 辰久  
委員 川口 隆之・桑原 敏幸  
野本真由美・細見 正行  
松川 卓司



議案第152号 令和4年度  
岩国市一般会計補正予算（第  
7号）について

**問** 衛生費の保健衛生費の母  
子保健費の出産・子育て伴走  
型相談支援事業の事業内容に  
ついて伺う。

**答** 本事業は、妊娠から出  
産、そして2歳までの子育て  
家庭に寄り添うための伴走型  
相談支援体制を充実させると  
ともに、本補正予算中の第3

款 民生費の児童福祉費の児  
童福祉総務費の出産・子育て  
応援給付金給付事業の出産・  
子育て応援給付金を給付する  
ことにより、経済的支援と併  
せて一体的に実施するもので  
ある。具体的には、妊娠届出  
時に保健師、助産師等による  
面談を行い、出産や産後の生  
活の見通しが立てられるよう  
相談・支援を行った後、妊婦  
に対し5万円を給付。また、  
産前休暇に入る時期、出産に

向けて不安が高まる妊娠8か  
月頃に、妊婦の希望により面  
談にて出産や産後の準備につ  
いての相談・支援を行う。そ  
の後、出産から生後4か月頃  
までに産婦などと面談して、  
相談・支援を行った後、養育  
者に対して、乳児1人当たり  
5万円を給付することとな  
る。

**問** コロナ禍において、非常  
に出生率が低くなっており、  
この制度により安心して出  
産・子育てができることか  
ら、来年度以降も安心して妊  
娠・出産・子育てができるよ  
う、ぜひ事業を継続してい  
たいが、今後の予定につ  
いて伺う。

**答** 本事業は国の補助事業に  
なっており、国が来年度以降  
も事業を継続する場合は、本  
市としても継続することにな  
ろうかと考える。



スマートフォンなどでそれぞれのQRコードを読み込んでいただくと、より詳細な内容が御覧いただけます。

12月23日の本会議で、各常任委員会の委員長から審査報告がありました。  
主な審査内容と結果を要約して掲載しています。

## 建設

委員長 山本 辰哉  
副委員長 広中 英明  
委員 植野 正則・奥江 徳成  
中村 恒友・姫野 敦子  
藤本 泰也



議案第131号 令和4年度  
岩国市下水道事業会計補正予  
算（第1号）について

**問** 今回の農業集落排水建設改良費の増額補正は、台風14号で水没した美川町の南桑農業集落排水処理施設の機械設備等を更新するための経費であると伺っているが、更新内容及び今後同様の災害が発生した場合への対応はどのように考えているのか。

**答** 水没した非常用エンジンポンプや流量計などの更新を行う予定としている。今後は、施設の建屋内に水が入らないように、防水扉などの設置を検討している。

議案144号 岩国市水道条例の一部を改正する条例について

**問** 水道施設は命を守る重要なライフラインであるとともに将来に引き継ぐべき社会資本であるため、適正に管理、

更新していくことが重要な課題である。今回の水道料金の値上げによって施設の管理や更新を、今後計画的に実施していくことができるのか。

**答** 水道施設耐震化10ヵ年計画に基づき、災害に強い水道の実現に努め、市民の負担を最小限に抑えつつ、安心・安全な水道水を末長く安定的に供給できるように、計画の精査も行いながら効果的な手法で対応してまいりたい。

**問** 値上げに当たっては市民の理解が必要である。来年7月からの値上げまで期間があるが、市民の方々に対する周知方法についてはどのように考えているのか。

**答** 「広報いわくに」「チラシの全戸配布」「ホームページへの掲載」等で周知してまいりたい。

## 総務

委員長 武田伊佐雄  
副委員長 桑田 勝弘  
委員 石本 崇・貴船 斉  
広中 信夫・藤重 建治  
松田 一志



議案第134号 岩国市行政  
組織条例について

**問** 今回の組織の見直しにおいて、中山間地域振興課が対象の一つとなった理由と見直しによるメリットを問う。

**答** 中山間地域振興課は移住定住班と地域活動支援班の2班からなっている。移住定住班の業務については、中山間地域への移住相談を担当している。一方、移住定住については広報戦略課が中心市街地なども含めて市全体を所管している部分もある。

また、地域活動支援班の業務についても、新たに市民協働部に設置する地域づくり推進課に移行し、自治会活動や市民活動との協働の推進と併せて総合的・主体的に地域づくりを進めていく体制を取ることが望ましいと考えている。新体制により、窓口を一元化することで各総合支所の地域振興課との連携

も強化されると考えている。  
議案第147号 岩国市総合  
計画基本構想の策定について

**問** 将来像を支える基本理念の中に「豊かで美しい自然を守るとあるが、国が旗振り役となつて再生可能エネルギーを推進している中、自然環境の保全に係る取組に対する課題について見解を問う。

**答** メガソーラー等に関する様々な問題は全国各地で出ており、各自治体が条例などを設置して地域に合った規制をかける取組事例も承知している。一方、国が推し進める施策に対し地方自治体がバランスを取っていくことは難しく、県境をまたぐ事業については、広域的な取組が必要になる場面も考えられることから、山口県や各自治体とも情報共有しながら、自然を守るために条例設置も含めて考えていく。

# 議員提出議案について

12月定例会において、2件の議員提出議案が提出されました。

## 1 議員提出議案第6号 議会広報特別委員会の設置について

令和4年12月13日に議案が提出され、全会一致で可決しました。

### 《提案説明》 志政いわくに 藤本泰也議員

本市議会においては、令和2年3月より令和4年10月まで、議会広報特別委員会を設置し、市民に開かれた市議会を目指し、議会広報活動の充実に取り組んできた。

様々な取組の一例として、「デジタル化の時代に合わせて、議場などのWi-Fi環境を整備するとともに、将来のペーパーレス化を視野に入れ、議場におけるタブレットの活用を開始」「分かりやすい一般質問を目指して、質問議員が準備した写真や図などを議場のモニターやケーブルテレビで放映」「親しみやすい議会広報をめざし、議会だよりのネーミングを、英単語の「よく見る、確かめる」という意味のSeeを踏まえて、See議会とするとともに、それまで、錦帯橋の写真が中心だった表紙を、かわいらしい保護猫の写真や市美術展覧会の作品の掲載等に変えて、議会だよりのイメージを一新する」などの創意工夫を行ってきた。

しかしながら、投票率の低下などの厳しい状況を踏まえると、今後とも、市民の市議会及び市政への理解と関心を高め、市民と市議会との距離を縮めていくことが、引き続き、重要な課題の一つである。

については、市民の議会及び市政への理解と関心が高まるよう、本市議会を挙げて、より積極的で効果的な情報発信を推進する必要があることから、議会広報活動の体制強化及び活性化を図るため、改めて、議会広報特別委員会の設置を提案する。



### ○調査項目

- (1) 市議会だよりの編集及び発行に関すること
- (2) 市議会ホームページの運営に関すること
- (3) その他議会広報に関することのうち、特別委員会が必要と認めるもの

### ○委員構成

委員長 武田伊佐雄  
副委員長 野本真由美  
委員 川口 隆之 長岡 辰久  
        広中 信夫 広中 英明  
        松川 卓司 矢野 匡亮



## 2 議員提出議案第7号 岩国市議会の個人情報の保護に関する条例

令和4年12月23日に議案が提出され、賛成多数で本条例案を可決しました。

### 《提案説明》 憲政会 武田伊佐雄議員

昨今におけるデジタル社会の進展に伴い、オンライン申請などを通じたデータでの個人情報の利用が常態化するとともに、今後、マイナンバー制度のさらなる活用が予定されていることから、適切な個人情報の保護がより一層求められている。

国際社会に目を向けると、ヨーロッパ諸国における個人情報保護は、公的部門と民間部門に共通の法制度が適用されるオムニバス方式が採用されている。

我が国においても、国際間における個人情報の保護の展開も視野に入れ、デジタル社会形成整備法によって、個人情報保護法、行政機関個人情報保護法及び独立行政法人等個人情報保護法の3本の法律が1本に統合され、個人情報保護のルールが、公的部門、民間部門の垣根を越えて、統一化されることになった。

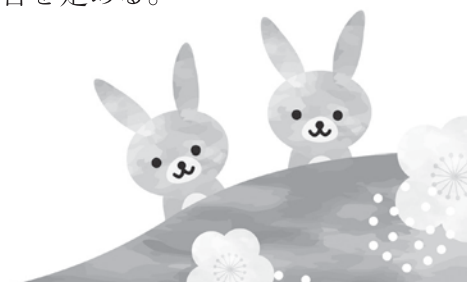
そのような状況の中で、地方議会は、自律権があることから、国会や裁判所と並んで、基本的に個人情報保護法の対象となる地方公共団体の機関から除外されているが、岩国市議会も、デジタル社会形成基本法がうたう「創造的かつ活力ある発展が可能となるデジタル社会」の形成の一翼を担っていることから、個人情報の保護と住民生活の利便性の向上の両立を目指して、本条例を提案する。



### 《条例の概要》

- ・ 議会の個人情報の対象は、基本的には議会事務局の職員が職務上作成し、または取得した個人情報を想定し、開示請求等の手続を定める。
- ・ 職員もしくは職員であった者などが、その業務に関して知り得た保有個人情報を自己もしくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、または盗用したときなどの場合には、罰則規定が定められている。
- ・ 岩国市議会に審査請求があった場合については、市の附属機関である岩国市情報公開・個人情報保護審査会に諮問することとし、本議員提出議案の附則において「岩国市情報公開・個人情報保護審査会条例」の一部を改正することによって、その旨を定める。

スマートフォンなどでそれぞれのQRコードを読み込んでいただくと、より詳細な内容が御覧いただけます。



## 3月定例会のお知らせ(予定)

2月21日(火)	本会議 (開会 議案等上程 説明 質疑 委員会付託)
3月3日(金)	本会議 (一般質問)
6日(月)	本会議 (一般質問)
7日(火)	本会議 (一般質問)
8日(水)	本会議 (一般質問) ※予備日
10日(金)	本会議 (一般質問) ※予備日
13日(月)	経済常任委員会
14日(火)	教育民生常任委員会
15日(水)	建設常任委員会
16日(木)	総務常任委員会
23日(木)	本会議 (委員長報告 質疑 討論 採決 閉会)

※会期日程は、変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

※傍聴については、市議会ホームページでお知らせします。



## 議場内に、心が和む「生け花」 ～12月定例会～

12月定例会一般質問の間、「池坊岩国支部」の方々に、「生け花」を生けていただきました。

花材 (ガーベラ、レースフラワー、ルスカス、サンキライ、アスパラ、スプレーカーネーション)



委員 長 武田伊佐雄  
副委員 長 野本真由美  
員 川口 隆之  
長岡 辰久  
広中 信夫  
広中 英明  
松川 卓司  
矢野 匡亮

### 議会広報特別委員会

委員 長 武田伊佐雄

また、岩国市議会としても、もっと市政に関心を持っていただきたく、議会広報特別委員会を設置いたしました。開かれた議会を目指して、これからも工夫してまいりますので、ぜひ3月定例会は議場にお立ち寄りください。

本定例会は、令和4年10月23日に執行された岩国市議会議員選挙後、初めての定例会でした。一般質問においては、選挙戦を通じて市民の皆様から寄せられた御意見に基づいた質問を多くの議員がいたしました。

編集後記

## 目の不自由な方へ

いわくに市議会だより See 議会の音声データをご希望される方は、議会事務局にお問い合わせください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

発行/岩国市議会 〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号 TEL(0827)29-5190 FAX(0827)21-1001  
編集/議会広報特別委員会 印刷/フジ美術印刷株式会社 <https://iwakunishigikai.jp>



古紙パルプ配合率  
70%再生紙を使用

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

いわくに市議会だより 令和5年(2023年)2月15日号